

八重山 くりからーや えーまぬ

あまくま つかさなーら。
や え やま
 これからは八重山のあちこちをご案内しましょう。



おきなわ 沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、おどす 沖縄のどんな観光地をめぐるているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、八重山地区を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内しますか。



かひらわん
川平湾(石垣市)

くぬしゅまぬ
 いんぬふあぬ ちぐち。
いしがきま
 石垣島の北西部にある湾。



しゅまぬ、とぅむすんがれー やでーん ちゅかーれーる なーむちる とぅくる。
 石垣島の観光ポスターには、必ずといっていいほど使われる有名な場所です。

くぬ ちゅぐちえー いんぬ すーぬ かいしゃーり とぅきうとぅていだぬ
 ぐあいし すーぬ いるぬかーり たかでいとぅ がらすぬふにから
 まーりみせーり うむっさ しーる みぐとぅな とぅくる。

川平湾は海の水がすんでおり、時間や光の加減で、いろいろと海の色が変わり、高台やグラスボートから回って、多くの人たちの目を楽しませている有名な所です。



とうりんじ
桃林寺(石垣市)

しゅかぬ いしやなぎらなんがー
 えーまんが はじみてい
 たていだ ていら。
や え やま
 石垣市石垣にある八重山で
 初めて建てられた寺です。

1614にん さつまから
 あんかれーり つくるだ。
 1614年に、さつまはん 薩摩藩のすすめによって
 建てられました。

ペーリふちゅぬ すばびゅさなんが たちる におーや なま ぬくりる うちゅなんがれー
 うきなーんが むつとぅむ ふるさーる きーぬ くりむぬし けんぬ 文化財かい なりん。
さんもん 山門の左右に立っているにおうぞう 仁王像は、現在残っている中では沖縄で最も古い木ぼりの像として、県指定の有形文化財となっています。

メ
モ

うきなーんが とぅび
 んでー かいしゃーる
 すなだぬ すまで
 あんかばん みしゃーんらー。
 沖縄を代表する美しい
 風景の島といえるでしょう。



たけとみ
竹富島(竹富町)

あかがーらやー うーるぬ ぐすく すすいのーぬ みちゅ、やーぬ ういぬ しーさー
 あんで ぐしょーくぬ はな なーだ いるぬ くゆさーり かいしゃーる はなばなぬ
 すなだ。くりどぅ てーどぅん。

赤がわら屋根の家やサンゴの石垣、白砂の道、屋根の上のシーサー、そして、ハイビスカスなど色あざやかな花々が咲く原色の花々が咲く風景。それが竹富島。

うりたんがーや あらなー。むかすからぬ ようしきぬ くらしぬ なかなんが
 いかされーすん てーどぅん。
 それだけではありません。伝統や古い文化が、生活の中に生きているのも竹富島です。



ピナイサーラの滝



いりむて
西表島(竹富町)

いりむていすまーや
 うきなーんがれー
 にばんぬー
 まいしゃーる しゅま。
 西表島は、沖縄県では沖縄島に
 次いで面積の大きい島です。



ちきゅーんがれー くぬしゅまたんがーぬ いきむぬ「いりむていぬ やまやー」であんき
 あつたらむぬ かい なりる。
 世界では西表島だけにしかない、天然記念物の「イリオモテヤマネコ」でも有名です。

うぬふかんがー なかまかーら ぴないさーら うきなーんがれー くまたんがーぬ
 ぴるまりーる とぅくる。
 その他にも、なかま 仲間川やピナイサーラの滝など、沖縄では他に見ることができない風景が広がっています。

与那国 ないがらー，どうなんちまぬ

うまかま 案内き うやん。

これからは与那国のいろいろな所をご案内しましょう。



沖縄には、年間何百万人という多くの観光客が訪れます。その観光客は、沖縄のどんな観光地をめぐるにしているのでしょうか。次は沖縄島をはなれ、与那国島を訪れてみましょう。あなたなら、どこを案内するかな。

日本最西端の碑(与那国町)



うんが んさたや 台湾が
んなりる どうぐるんでい うとうたがん。
運が良ければ、台湾が見える場所として有名です。
また、ていだんが うんながんき
いりる 光景や んんでいん んだにた
あびやんどー。また、太陽が海にしずんでいく光景
も何と言えないほど美しいよ。



うまどう だまとうぬ
いっていん いりぬ
はていぬ だー。
ここは日本で、最西端の地。

メ
モ

なんたはまや どうなん つとうぬ
ちむすらしどぐる。
なんた浜は、与那国島の人の心の故郷です。
うたに あるに、どうなんちまぬ
いっていん うとう たがる
どぐるどう ないぶるゆ。
歌にも歌われていて、
与那国では一番有名な場所でもあります。



なんた浜(与那国町)

たぎや 30メートル あん。 高さ30メートルもあります。
ちまん つとうんたや 「かんぬいてい」んでいどう んでいぶいてい、
見張台がら んぬ しがたや、かんぬいていぬ なーぬ とーりり みぐとうどうー。
島の人々は、「神の岩」と呼んでいて、展望台からの姿は、神の岩という名前の通り見事です。

立神岩(与那国町)



どうなんちまぬ みーぬふわぬ
うんながに ある うぶいていどう
たていがみいてい ないぶる。
与那国島の南東部(巳の方角)の
海にある大きな岩が立神岩です。



アヤミハビル館(与那国町)



ヨナグニサン (あやみはびる)

ヨナグニサンや 日本に いっていん まいさる はびる、
どうなんにや あやみはびるんでいどう んでいぶる。
ヨナグニサンは日本最大の「ガ」で、与那国ではあやみはびると言っている。
日本にや どうなんとう、いりむていにどう ぶる。 日本では与那国島と西表島にしかいません。
あやみはびるかんにや うぬ あやみはびる つかないぶん。
アヤミハビル館では、このあやみはびるを飼育しています。

わったー しまぬ はーりーや みぐとぅな むん。
わたしたちの故郷のはーりーは、見事なものだ。



はーりーは、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。

沖縄で行われるはーりー行事の中でも「那覇はーりー」は最大規模で、およそ600年の歴史があるといわれています。

ちゅーや はーりー、
まじゅーん んーじが
いかな。
今日のはーりーの日。
いっしょに見に行こう。

いー。
まじゅん いか。
いいですよ。
いっしょに行こう。



わんにん そーてい
つんじ くいみそーれー。
わたし
私も連れていってください。

んかしえー、はーりーぬ ひーや
ゆっかぬひーに うくなとーたん。
昔は、はーりーの日は、
(旧れきの) 5月4日に行っていたんだよ。



中南部各地の行事

中南部の各地域にはいろいろな行事があり、その地域に住む人々が大切に守り続けてきました。あなたの地域には、どのような行事がありますか。

しまくとぅば ちかてい、しまぬ しちびんかい んーな まじゅーん
いかな。
しまくとぅばを使って、故郷のお祭り(行事)に、みんなといっしょになって
参加しよう。



↑那覇大つなひき



↑ししまいフェスティバル



↑全島えいさー祭り



↑与那原大つなひき



↑海神祭(座間味村)



↑糸満はーれー(※糸満では、はーれーと言います。)

わね しまぬ むらうどういや、でいきとん。
わたしたちの島の村おどりは、見事なものだ。

むらうどい（村おどり）は、豊作や村の人々の安全を願って行う祭りです。

ちゅーや むらうどうい
いえーくとう、
まんなな みーが いかー。
今日は村おどりだから、
いっしょに見に行こう。



わぬ そーてい いじ
とーらしえー。
わたし
私を連れて行って下さい。



みんなよーがなしー

すやぬ うんがみや、やんばるうっていや
なー うりとる まつり いえーんどー。
しおや
塩屋のうんがみは北部で有名な祭りなんだよ。



はーれーぬ
でーじな うっさん。
はーりーが、
とてもおもしろいよ。



北部の行事



↑塩屋のうんがみ



↑安田のしぬぐ



↑安部のうしてーく



↑久志の若按司（久志区）



↑屋部の八月おどり

ぱーんとぅーや みゃーくんうていや なーだか
まちゅりどーや。

ぱーんとぅーは、^{みやこ}宮古で有名な祭りなんだよ。



ばんたが しゅまぬ ぱーんとぅーや、みゃーくぬ しゅまじゅーんどぅ あいう。
わたしたちの島のぱーんとぅーは、宮古の島中にあります。

ばぬー さーり いき
ふいーさーち。
^{わたし}私を連れて行って下さい。

きゅーや ぱーんとぅー やーば
まーちゅき みーが いか。
今日はぱーんとぅーだから、
いっしょに見に行こう。



ぱーんとぅー

どろー どろが んーなんかい
たっかーし、ぴゅとぅー
ういきしゅまーい。
どろを自分のからだにぬりたくって、
人を追いかけて回る。



宮古の行事



^{ぐすくべかみく}↑城辺上区のししまい



^{かわみつぼう}↑川満棒おどり



↑うるかくいちゃー



^{まつばら}↑松原のししまい



^{うがん}↑やーます御願



↑池間のくいちゃー



^{ともり}↑友利くいちゃー



↑友利ししまい

ばがー しゅまぬ ぷーりうや みぐうとう。

わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。

ぷーりう（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。集落ごとに行われる祭りで、八重山で行われる行事の中でも規模が大きく、人々が楽しみにしている行事です。

きゅーや ぷーりうどう
やりきー、まーぞんさーり
いきって みしら。
今日は豊年祭だから、いっしょに見に行こう。

ばぬん、さーり き ひょーり。
わたし
私を連れて行って下さい。

なー うつあれーんどー。
有名なんだよ。

しゅかあざぬ あんがまーぬ
むんどーや うむっさんだらー。
しかあざ
四箇字のあんがまーの問答が、
おもしろいよ。



メモ

八重山の行事



↑竹富のたにどうり



↑西表祖納のしつまつり



↑波照間のむしやーま



↑小浜結願祭



↑川平のまゆんがなし



↑ゆっかぬひー



↑四か字豊年祭 つなぬみん

ばーちまぬ うがんふとっていや みぐとぅな むぬどぅー。
わたしたちの島の豊年祭は、見事なものだ。

うがんふとってい（豊年祭）は、豊漁や海の安全を願って行う祭りです。
与那国で行われる行事の中でも、「どんた」や「棒おどり」はみんなが楽し
みにしています。

すーや うがんふとっていどう
あるんがら、まどぅん
んにんてい ーいー。
今日は豊年祭だから、いっしょに
見に行こう。



たんでい あぬ
すいひー とぅらしんに。
わたし
私を連れて行って下さい。



うとぅたがる まちりどぅ
ないぶる。
有名な祭りなんだよ。



「どんた」き 「ぶー つかい」
あらーぐ、うむつぁんどー。
「どんた」と「棒おどり」が、
とてもおもしろいよ。



メモ

与那国の行事



↑ぶーぶどぅい（棒おどり）



↑たていうさい



↑みていうた



↑くぶらまちり



↑うがんふとってい

いいー そーぐわち れーびる。
良いお正月です。



一年の計は元旦がたんにありといわれます。元日には、家族が集まってきちんとあいさつを行い、一年のほう負などを述べ合うのも良いかもしれませんね。

あなたの今年の正月はいかがでしたか？

いいー そーぐわち
なたんやー。
良いお正月になりましたね。

にとーぬ えーさち
うんぬき やびら。
年頭のあいさつをします。

くとしん ゆたさるぐとー うにげー さびら。
今年もよろしくお祈いします。

北部 いいー そーぐわち やー。



にとーぬ えーすとー
しーが づちゃん。
年頭のあいさつにきました。

くたいん ゆたはるぐとーやー。
今年もよろしくお祈いします。

いいー そーぐわちやー。
良い正月です。

宮古 かぎ しょーがちうぬどー なりういー。



しょーがちうぬ あいさつちう
すーでい。
年頭のあいさつをします。

くとしうまい たかさしー
がーいーさーち。
今年もよろしくお祈いします。

かぎ しょーがちうやー。
良い正月です。

八重山 いいー しょんぐわじうらー。



にとーぬ あいさちう っさりんゆー。
年頭のあいさつをします。

にとーぬ あいさちう っさりんゆー。
今年もよろしくお祈いします。

いいー しょんぐわじうらー。 良い正月です。

与那国 いいー すんがていどー ないぶるゆー。



にとーぬ あいさてい つありん。
年頭のあいさつをします。

くとしん いーくとしゆ
あらみとーらしわり。

いいー すんがてい。 良い正月です。

今年もよろしくお祈いします。



正月にうたわれるうたを調べてみましょう。

中南部 / 北部 「かじゃでいふう」 (かぎやで風)

あらたまぬ とーしに たんとー くぶ かじゃてい
くくるから しがた わかく なゆさ。

新年に炭とこんぶをかざって、心から若くなったような心持ちがする。

きゆうぬ ふくらしやや なをうにじゃなたている
ちぶでいうる はなぬ ちゆちゃ たぐうとー。

今日のうれしさは何に例えよう。つぼんでいる花がつゆに出会って花が開いたようだ。

宮古 「とーがにあやぐ」

うぶゆ ていらしゆる まていだだき 国ぬ 国々
島ぬ 島々 ていりやがーり うすいよー。

大世を照らしている真太陽 (ティダ) のように 国の国々、島の島々を照りかがやき統治する～。

八重山 「ばしうぬ とーりうぶし」 (わしの鳥節)

～ しょんぐわじうぬ しうとーむでい ぐわんにちうぬ 朝ばな あがるかい
飛びちうけ ていだば かめ まいちうけ。

(7・8番の歌詞) 正月の早朝に 元日の朝まだきに

(若わしは) 東の方に飛んでいった太陽をいただいてまて行った。

※与那国では、正月には中南部と同じように「かぎやで風」がうたわれるのが一般的です。

中南部 むーちー ちゅくてい, とうしぬ

かじぬ むーちー さぎらな。

むーちーを作って, 年の数のむーちーを下げよう。



旧れきの12月8日は「むーちー」を食べる日です。「さん^{げつとう}にん(月桃)」の葉に包まれた「むーちー」は, よい香りがする, おいしい食べ物ですね。また, みんなの年の数だけヒモで結んで天井^{てんじょう}からつるす風習もあります。またこの時期は, 「むーちーびーさ」といって, 一年でも寒くなる季節でもあります。おいしい「むーちー」をたくさん食べて, 身も心も暖^{あたた}かくなりましょう。

むーちー うふおーく ちゅくてーぐとぅ ちゅふあーら かみよー。

むーちーをたくさん作るから, お腹^{なか}いっぱい食べてね。



あいえー, まーさぎさんやー。
とー, ていーちえー かりんーら。
ああ, おいしそうだね。
それでは, ひとつ食べてみよう。

北部 うりむちー とうくてい,
とうしぬ かじ うりむちー さぎらー。

うりむちー ふおーく とうくてくとぅ,
わたみちゆか くえーよー。
むーちーをたくさん作るから, お腹^{なか}いっぱい食べてね。

まーはぶちやげらはぬ。だー, ていーち くわーてい んだー。
おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



メモ

宮古 むっちゅう ちゅっふい, とうしぬ かずだき
むーちーゆ さぎやー。

むっちゅう うばーた ちゅっふい うきば ばたーんちゅきや ふういよー。

むーちーをたくさん作るから, お腹^{なか}いっぱい食べてね。

あがんにや(あば), んまぎやー。あら, ぴうていーちゅ ふういみー。

ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。

(※最近では^{みやこ}宮古の家庭でもムーチーを作ったりしますが, 本来, 宮古にはムーチー行事は行われていませんでした。)



八重山 むつば つくり とうすぬ かず
さげー みやーむー。

むーちー たかーに つくれーりきー ばだぬ んつんけん ほういよー。

むーちーをたくさん作るから, お腹^{なか}いっぱい食べてね。

いびー, んまさんがしゃーそー。あんずかー
ぴていーず ほうい みやーむー。

ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



与那国 むてい つくいてい, とうちぬ かでい
さんぎるん。

むてい まーしく づくいあんがら, ばた んくた はいばえー。

むーちーをたくさん作るから, お腹^{なか}いっぱい食べてね。

あー, まーさんぎさんがえー。いた づくち はいんぬー。

ああ, おいしそうだね。それでは, ひとつ食べてみよう。



ちゅーや しーみー。するてい はかめーが いか。
今日は清明祭。みんなで墓参りに行こう。



沖縄島では、4月のはじめに「しーみー（清明祭）」を行います。そのときは、家族や一族が集まって墓参りをして、ごちそうをお供えして、ご先祖さまを供養します。

うやふぁーふじんかい うーとーとぅしえーやー。
ご先祖さまに、うーとーとーしなさいね。

うーとーとぅ。
うーとーとー。

うーとーとぅしから、うさんれー さやー。
うーとーとーしてから、ごちそうをいただこうね。



北 部 ちゅーや しーみー。
むんどぅり すりてい ふぁかけ いかー。

うやふぁーふじけ とーとぅ しえー。
ご先祖にうーとーとーしなさいね。

とーとぅ しちから、さんでー さーやー。
うーとーとーしてから、ごちそうをいただこう。

うーとーとぅ。
うーとーとー。



×
モ

宮 古 ・ 八 重 山 ・ 与 那 国

今日は十六日祭。みんなで墓参りに行こう。



宮古や八重山、与那国では、「十六日祭（じゅーるくにちー）」が盛んです。「じゅーるくにちー」は、旧れきの1月16日に行う墓参りです。あの世（後生）の正月といわれています。

宮 古 きゅーや じゅーるくにちゅ。
んーなし ぱかんかい いか。

きゅーや じゅーるくにちゅ やーば んまむぬう くーつうい きうしうたいう。
んーなしー んきぎさーち。
今日は十六日祭だから、ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。
ずー、んーなしー ていーや かみっていから、んまむぬー ぶあー。
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

八 重 山 きゅーや じゅーるくにちゅ
むるさーり はかかい はらら。

きゅーや じゅーるくにちゅ やりきー こつきー しこーりきーだ
けーらし おいしとーんなーらー。（んこーりよー。んきやーとーりよー。）
今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。
でいー、けーらし ていー うさーし こつきー とーらりら。
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

与 那 国 すーや どうぬくにてい。
ぶーる まどぅん はがんき でいー。

すーや どうぬくにてい どう。うさい しくんき すんどぅ。ぶーるし うやしわれ。
今日は十六日祭です。ごちそうを準備してきました。みなさんでおめし上がりください。
でい、ぶーるし ていー うさしてい、うさい たばらりるー。
さあ、みんなで手を合わせて、ごちそうをいただこう。

ちゅーから しちぐわち。うんけーさびら。
今日からお盆。おむかえしましょう。



旧れきの7月13日から15日までの三日間は、お盆が行われます。ごちそ
うをお供えして、ご先祖さまを供養する行事です。13日の初日は「うんけー（お
むかえ）」、14日は「なかび（中日）」、15日は「うーくい（お送り）」の日で、
うちかび（あの世で使うお金）を燃やして、ご先祖さまをお見送りします。各地
では、「エイサー」や「アンガマ」など、お盆ならではのよおしも行われます。

ぶちらん
(仏だん)
とーとーめー
(位はい)



しちぐわちぬ うさぎむん うさがみそーれー。
お盆のお供え物をおめし上がりください。

うんけー さびら。
おむかえしましょう。

うさんれー さびら。
お供えしたごちそうをいただきます。

うーくい さびら。
お見送りしましょう。



太郎くんの地域では、「エイサー」が集落内
を回っています。あなたの地域では、どんな
お盆行事が行われているかな。

北 部 ちゅーから しちぐわち。むけーらやー。

しちぐわちぬ うさぎむぬ
いいちやぎそーれー。
お盆のお供え物をおめし上がりください。
うんけー さーやー。
おむかえしましょう。

さんでー さーやー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うーくい さーやー。
お見送りしましょう。



宮 古 きゅーから しうとうがちう んかいやー。

しうとうがちぬ うさぎむぬう
んきぎさまち。
お盆のお供え物をおめし上がりください。
ずー、んかい。
お迎えしましょう。

うさぎむぬう ふあー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うとつもー すー。
お供えしましょう（お見送りしましょう）。



八 重 山 きゅーから そーろん んかよーら。

そーろんぬ しこーりむぬ
おいしょーり。
お盆のお供え物をおめし上がりください。
んかよーらー。
おむかえしましょう。

すないだ むぬ（こつきー）
とーらりんどー。
お供えしたごちそうをいただきます。
うーくい さなーら。
お見送りしましょう。



与 那 国 すーがら する。んかるんどう。

するぬ まっちやる うさい
うやしわれ。
お盆のお供え物をおめし上がりください。
する んかいうやい。
おむかえしましょう。

まっちやる うさい たばらりる。
お供えしたごちそうをいただきます。
する うぐいうやい。
お見送りしましょう。



中南部 ちゅーや、わん

じゅーさんゆーえー。

ちゅらじん ちやーい うっさん。

今日は、私の十三祝^{わたし}い。きれいな着物を着てうれしい。



数えの十三歳^{さい}をむかえると、十三祝いの行事を行います。あなたの家や学校でも、十三祝いをしたことでしょ。比嘉^{ひが}家では、夕希^{ゆき}さんが、十三祝いをむかえています。おしゃれをした姿はかわいいですね。みんなは、どのような十三祝いをしたのかな。

ちゅらじん うちやーとーくとう
さしんやーかい さしん ぬじーが いか。
きれいな着物が似合っているから、写真館へ
写真をとりに行こう。

※写真をとることは「ぬじゅん」の
他に「うつすん」ともいいます。

ちゅーぬ ゆーきーや、
いっぺー ちゅらさんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。



すーん あんまーん うっさぎさんやー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。

北部 ちゅーや、わー じゅーさんゆーいえー。

ちゅーぬ ゆーきや、でーじな ちゅらはんやー。
今日の夕希は、とてもきれいだね。

ちゅらぎぬぬ うちやとくとう、写真やーけ いじ 写真 とういが いかやー。
きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

ちやーちやーん あんまーん うっさぎさんやー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。



メ
モ

宮古 きゅーや、ばが じゅーさんよーい。

きゅーぬ ゆーきーや ありやみーん あばらぎやー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

かぎ ぎゅんぬ ぱいーぱい ういば しゃしんやーんかい しゃしんぬ
とういが いか。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

あんなまい、うやまい ぷからしゅきやー。 お母さんもお父さんもうれしそうだね。



八重山 きゅーや、ばー じゅーさんぬよい。

きゅーぬ ゆーきーや あっぱりしゃー そーらー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

きんぬ かいしゃーり にやーりきー しゃしん とうんな はら。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

びげーん(あっちゃん) ぶねーん(あっぱん) さにんしゃんがさー そーらー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。



与那国 すーや、あなが どうーさんぬだい。

すーぬ ゆーきや、あらぐー あびやんがえー。

今日の夕希は、とてもきれいだね。

あびやる んなにんが まーてい んしゃるんがら、
写真やんき 写真 とうんでい だい。

きれいな着物が似合っているから、写真館へ写真をとりに行こう。

いやん あぶたん あらーぐ しゃなぎどう わるんがえー。
お父さんもお母さんもうれしそうだね。



<ーロメモ>

沖縄では、自分の生まれた年と同じ干支を生まれ年といっています。丑年に生まれたら、その年が自分の生まれ年になるわけです。また、生まれ年にはお祝いをしますが、そのことを「とうしびー」といっています。ですから、十三祝いも「とうしびー」のお祝いになるのですね。十三祝いの次は、25歳で、そのあとは37歳、49歳、61歳、75歳、97歳になります。

たんかーゆーいゑーんかい うんちけーさったん。

満一歳の誕生日に招待された。



赤ちゃんが、満一歳の誕生日をむかえると、「たんかーゆーいゑー」といって、誕生日を行います。「たんかーゆーいゑー」では、赤ちゃんの前にご飯やそば、ノートや筆などを置いて自由に手に取らせます。何を遊ぶかによって将来の職業をうらないながら、家族や親せきなどで祝います。あなたは何を選んだかな。家の人に聞いてみましょう。

あきらーや めー いらぶがやー。
明は何を選ぶかな。

花子の弟(明)
はなこー
みきがちよーれー

はなこーや ちゃーやたが。
花子はとうだった。

わんねー じん とぅつとーたんり。
わたしは、お金を取ったんだって。

あんしが あきらーや うじらーさんやー。
しかし、明はかわいいね。

北部 たつかゆーいゑーけ ゆわっとん。



あきらや めーが とぅいるやー。
明は何を取るかな。
ふあなこや ちゃっち げーたる。
花子はとうだった。

わぬや じーにー とぅたんでい。
私はお金を取ったんだって。
いゑーすが、あきらや
ばちきりとんやー。
しかし、明はかわいいね。

ちよーめん(帳面), ふでい(筆), じーにー(お金), するばん(そろばん), めー(ご飯)

宮古 たんかーよーいゑーんどう あびらいたいう。

あきらー, のーゆがいらびう がら。
明は, 何を選ぶかな。
はなこー, のーしーが やたいう。
花子は, どうだった。

ばがどう じんぬ とぅいうたいう
ていーぬ。
私はお金を取ったんだって。
あしうが, あきらー いんがなしうきやー。
しかし, 明はかわいいね。

ちよーみん(帳面), ふでい(筆), じん(お金),
するばん(そろばん), まい(ご飯)



八重山 たんかーよいかい ちうかさりだー。

あきらーや のーどぅ いらぶかやー。
明は何を選ぶかな。
はなこーや のーしどぅ うだかやー。
花子はとうだった。

ばなー じん とぅつたかやー。
私はお金を取ったんだって。
やすんが, あきらー あつたらさーん。
しかし, 明はかわいいね。
(注) あつたらさーん(かわいい)『石垣方言辞典』

ちよーみん(帳面), ふでい(筆), じん(お金),
するばん(そろばん), つんぼん(ご飯)



与那国 たんかぬ だいにき つかいらりたん。

あきらや, めーば いらぶかやー。
明は, 何を選ぶかな。
はなこや, めんに ぶたんが。
花子は, どうだった。

あぬや でいんどう とぅたるんでい。
私はお金を取ったんだって。
いるんが, あきらや んだらんえー。
しかし, 明はかわいいね。

ちよーみん(帳面), ふでい(筆), でいん(お金),
するばん(そろばん), い(ご飯)



んかしんちゆぬ いくとぅば てーしちに しょー。
昔の人たちのことわざを大切にしなさい。



あわていーる なーかー よーんなー (うていちき)

「急いでいる時こそ、ゆっくり(落ち着いて)。」急いでいるときこそ、冷静に落ち着いて行動しなさい。
・急がば回れ ・せいては事を仕損じる

れーじなたん。 がっこー うくりーん。
大変だあ。学校におくれてしまう。

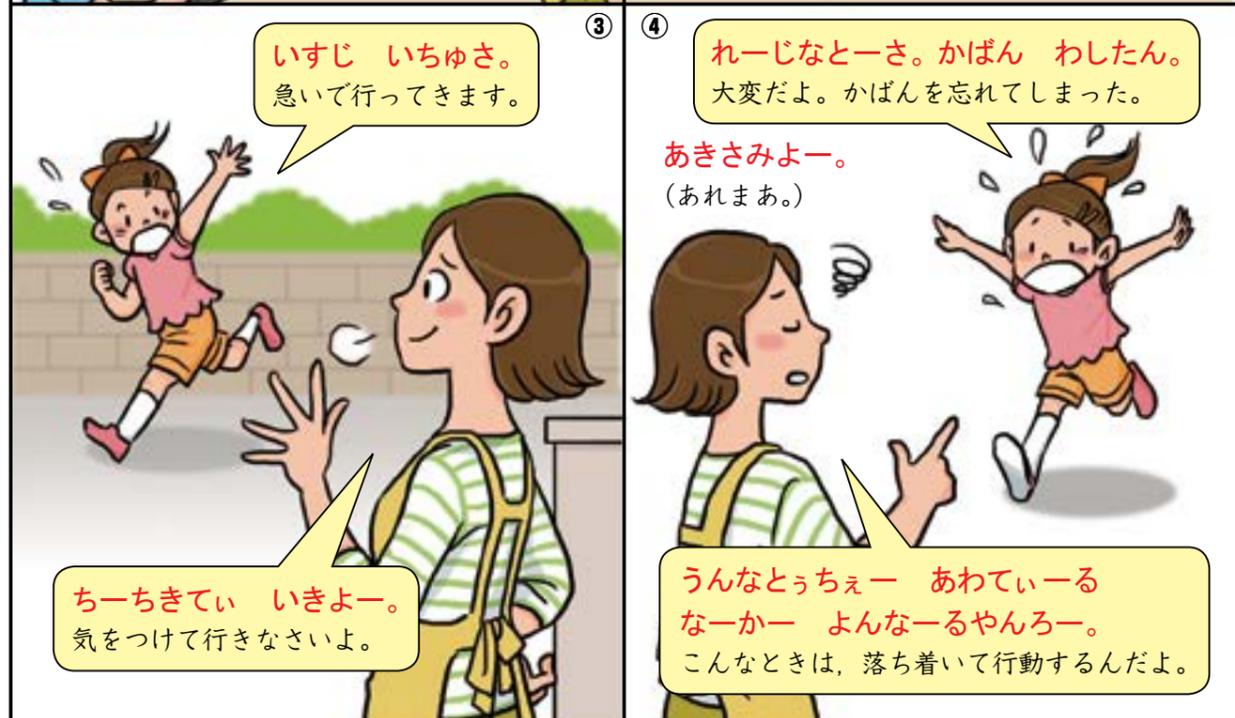
ふえーく うくちくいれー
しむるむんぬ。
早く起こしてくれたらいいのに。



いすじ いちゆさ。
急いで行ってきます。

れーじなとーさ。かばん わしたん。
大変だよ。かばんを忘れてしまった。

あきさみよー。
(あれまあ。)



ちーちきてい いきよー。
気をつけて行きなさいよ。

うんなとぅちえー あわていーる
なーかー よんなーるやんろー。
こんなときは、落ち着いて行動するんだよ。

くぬ ふかぬ いくとぅば。(この他のことわざ)

いくとぅばや、てーしちな むん やんろー。(ことわざは、大切なものです。)
たんめー、はんしーから ならてい んーりよー。(おじいさんや、おばあさんから習ってみようね。)

中 南 部

- いちやりば ちょーれー。(行きあえば兄弟)
「見ず知らずの人でも縁あって親しくなれば兄弟のようなもの。」
・そですりあうも他生の縁
- きらまー みーしが、まちげー みーらん。(慶良間は見えるが、まつ毛は見えない)
「慶良間列島は見えるが、目に最も近いまつ毛は見えない。」
・灯台もと暗し
- ぬちる たから。(命こそ宝)
「命はかけがえのない大事なものである。」
・命あつての物種
- やーなれーが ふかなれー。(家での習いが、外でもそのままの習い)
「家でのしつけの悪いのは、よそでもその通り。家でのしつけは外でも自然に現れるもの。」
・氏より育ち
- いいーつちよー しんぐわんしん こーてい るし し。(良い人は、千貫で買っても友とせよ。)
「良き友は、大金で買うほどの価値がある。」
※(お金のこと)



むかしんちゆーぬ いちえぬ くとぅや わっしていや ならんどー。
(昔の人のことわざは、忘れてはならないよ。)

北 部

- いっくわいなーる うすみじや ぬみる。(一回こそ、塩水も飲む)
「失敗は一回で十分である。くり返してはいけない。
(潮も水も同格で、苦くて欲しくないもののとえ)」・前者のわだちはふまず
- むぬ すそーに しーねー、うやふあーふじん すそーに すーすとぅ いいぬむぬ。
(物をそまつにしたら、親祖父母をそまつにあつかうのと同じ。)
「物をそまつにしたら、祖先をそまつにするのと同じ。」
- かーみぬ くーよか とぅしぬ くー。(亀の甲より年の功)
「年長者の豊富な経験は、貴重で尊敬すべきものだ。」
・老いている馬は道を忘れず
- みみだい？まーぬ ちゆーくーやー。(耳が垂れた馬(大人しそうな馬)こそ、人をかむ。)
「おとなしそうに耳を垂れている馬が、人をかむものだ。(人は外見で判断してはいけない。)」
- あがいていだる うがみる。さがいていだや うがまん。
(上がる太陽を拝むもので、下がる太陽は拝まない。)
「明るいことにこそ、心を向けなさい。細かいことできよくよしてはいけない。」



宮古 んきゃーん ぴうとうぬきゃーぬ
 んきゃーんじゅくう だいじゅんすー。
 昔の人たちのことわざを大切にしよう。



うむうちっかー ふうぎうだき あしうちっかー ぴさ だき。

思っているうちは首の高さ、やってみると足甲の高さ

※手をつける前は難しそうに見えても、実際にやってみると、案外たやすくできるものだ。

① のーばしーが すーでいがらやー。 どうしよう、どうしよう。

② あんちーぬ たかーたかぬ バーや とぅばいどう つしうちびやーやー。 こんなに高いバーをとべるかなあ。

③ いっうい うていーまい のーまい ならん。 あらんや とぅばっどー。 怖がっていてもしょうがない。 よーし、とぶぞ

④ あがいたんでい。とぅばいどう つしうさいが。 あしうちっかー ないうどう しうさいが。 やったー。とべたぞー。やればできるんだ。 思い切ってとんでよかったあ

うむーちっかー ふうぎだーき あしうちっかー ぴうさぬだきさいが。 思っているうちは首の高さ、 やってみると足の甲の高さだあ。

メ
モ

うぬ ぷかぬ んきゃーんじゅく (この他のことわざ)

んきゃーんじゅくや だいじゅなむぬ。

(ことわざは大切なものです)

しゅーたー、んまたーから ならい みーる。

(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう)



宮古

- ういびやー うちゅんかいどう ぶりいう。
 (指は内側に折れる)
 「五本の指が内側に折れるように、兄弟や親せきは、いざというとき協力して、事にあたるものである。」
 ・血は水よりもこし
- ぴとっだすきやー どうーだしうき。
 (人助けは 自らを助く)
 「他人に対するえん助は、結果として自分へのえん助として帰ってくる。」
 ・情けは人のためならず
- かなっさどう あばらぎさ。
 (愛故に美しい)
 「いとおいしい心で見れば、かわいく美しく見える。」
 ・あばたもえくぼ
- たかぎんーどう かじやー かかいう。
 (高木に風はかかる)
 「高い木には風が強く当たるように、優れた者は世間からとやかく言われる。」
 ・高木は風に折られる
 ・高木は風にねたまれる
- ぴうとっかたん かなう むぬぬどう、むむかたん かのー。
 (一芸にかなう者が、百芸にかなう)
 「一つの芸や技にひいでるものは、他の分野でも能力を発揮するものである。」
- やまばとー どうーぬ ふうちゅんかいどう ふうーいいう。
 (山ばとは自分の口に食われて射られる)
 「余計なことを言わなければ、災いを招くことはない。」
 ・キジも鳴かずばうたれまい
 ・口は災いの元



八重山 むかす ぴうとうだーぬ ゆんぐとうや
あたらさ しーよー。

昔の人たちのことわざを大切にしよう。



いー どうしゅ むちりっかー たたみぬ ぴーりゅ ふむん やな どうしゅ
むちりっかー ちうななー ぱくん。「善い友だちと仲良くするとたたみの上で良い暮らしができ、
悪い友だちと交わると、なわめをかけられる。」(「なわめをかけられる」は、「つかまる」ということ。)

ゆーきー まーずん としよかんかい
はらぬー きゆーぬ しゆくだい
まーじゆん さーでいー。
夕希。いっしょに図書館行こうよ。
今日の宿題、いっしょにやろうよ。

えーことう げーむせんたーかい
はる かたみ しえーすんが やすんが。
しゆくだいや あつたらむぬ
やりきー くとうぱり くいー。
えい子たちとゲームセンターへ行く約束して
るんだけど。宿題が大事だから、断ってくるね。



あんじー。かんじー かんがいー
みしやーるすず。ならーしひやー
にふあいどー。
そうか。こんな風に考えればいいのね。
教えてくれてありがとう。

いー どうしゅ むちりっかー たたみぬ
ぴーりゅ ふむん、やな どうしゅ
むちりっかー ちうななーぱくん。
本当に、「善い友と仲良くするとたたみの上で良い暮らしが
でき、悪い友と交わると、なわめをかけられる。」だね。



×
モ

7 ことわざ・言葉

うぬふかぬ むかしむに。(この他のことわざ)

むかしむに あたらさーる むぬ。
(ことわざは、大切なものです。) 注) むかしむに (ことわざ)
うしゆまい んみーから ならい みーら。
(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)



八重山

- うやぬくいやー かんぬくいで うむやー ゆぐ しきよー。
(親の声は神の声と違ってよく聞きなさいよ。)
- ゆくしむねー すーかー ぬすとるぬ はじまるんどー。
(うそをつくところ 棒が始まるぞ。)
「うそをつくことが、やがてはぬすみにつながっていく。うそをつくことは、どろ棒と同じように悪いことである。」
- かたちえー にばん きうむぬどう だいいちう。
(形は二番、肝(心)が第一。)
- いじえーる むねーや ぬまるぬ。
(言った言葉はのまれぬ)
「口から出した言葉は、再び口の中へのみ込むことはできない。」
・口は災いのもと
・後かい先に立たず
- ふちえーや やふぬ むとう。
(口は災いのもと。)
- ぱれーや ぬるまぬ。
(針はのまれぬ)
「小さいからといって、あなどってはいけない。」
・さんしょうはつぶでもピリリとからい
- ふしえー ぴとうぬ まりじよー。
(習へきは、人の生まれ性分)
「人のくせというものは生まれつきのもので、年を取っても変わらない。」
・三つ子のたましい百まで
- もーぎぬ たちるかー あーみー ふりんどー。
(にじの立っているところでは、雨が降っている)
「何か物事が発生するときには、必ず物事が起きる理由がある。」



与那国 んかち つとうんたぬ むぬぬたてい
あたらきりよー。

昔の人たちのことわざを大切にしよう。



どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに、つとうにや なーなたが あいどう ぶる。

「一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、人それぞれの性格がある。」

・十人十色



ぬーば きー あんぶんが。
んまんき ひるんが。
何して遊ぶか。どこに行くか。

ぬー すむていば どうむかや。
うんがどう うむつつあんぎさる。
どの本を読もうかな。これがおもしろそうだな。

あぶたー、すーぬ どういや
ぬば あい わるかや。
あぬん ていがない きるん。
お母さん、今日の晩御飯は何。
私もお手伝いするよ。

どうとうまりる うゆびぬ なーまら あるんに、
つとうにや なーなたが あいどう ぶる。
一晩に生まれた指に長い短いがあるように、人には、
人それぞれの性格がある。

メ
モ

うぬふがぬ むぬぬたてい。(この他のことわざ)

むぬぬたていや、あたらる むぬどー。(ことわざは、大切なものです。)

あさ、あぶんたがら ならいんにゆー。(おじいさんや、おばあさんから習ってみましょう。)

与那国

●あとうなる むぬんがどう、うぶいゆ ふ。

(後になる者が、大きな魚を食べる)

「人に先をゆずって最後に残った人が、大きな魚を食べることがあるように、人に先をゆずれば、自分に福がやってくる。」

・残り物には福がある。

●いーむぬとち ちりたや いーならいき、だなむぬとち ちりがらや、だないどう きる。

(良い人と付き合ったら良い習慣が身に付き、悪い人と付き合えば、悪い習慣が身に付く)

「交際する相手によって、人は感化されてしまう。」

・しゅに交われれば赤くなる。

●うやんが うむんに あがみんが うまぬん。

(親が思っているようには、子どもは思っていない)

「親がどれだけの愛情を注いでも、子どもには伝わりにくいものである。」

・親の心、子知らず。

●ていん あがみがらや、かでい くんていどう ある。

(空が赤くなってくると、台風がやってくる)

「天気のことわざ」

●みーみぬ まいぬどう、んたく。

(実らないいねのほが頭を立てる)

「礼ぎを知らなくてはいけない。」

・実るほど頭を垂れるいなほかな。

●きーぬ まんがいや、つかりるが、つとうぬ まんがいや、つかにぬん。

(木の曲がりには使えるが、人の性格の曲がった奴はどこにも使えない)

「もって生まれた性格や性質は、年を取っても変わることはない。」

・三つ子のたましい百まで

●だーならい どう ふがならい。

(家での習いが、外での習い。)

●はいない にちない、どうったい かつたい。

(南か北か、どちらかわからない)

「決断力が無く、いい加減な人を言い表すことば。」

